



原っ子つうしん

目には見えないけれど大切なもの「命」「思いやり」「一生懸命」

令和6年

9月3日（火）

印西市立原小学校

校長室便り

〈第5号〉

<学校教育目標>

人間性豊かな、考え行動できる心身ともにたくましい子どもの育成

～自らの可能性に挑戦する活力ある原っ子～

9月2日、長かった夏休みが終わり、原小学校に元気な子どもたちが戻ってきました。6名の転入生を迎え、全校児童1,192名での第2学期スタートです。どの学級からも夏休みの楽しかった思い出や、頑張った経験談などを発表する声が聞こえてきました。目を輝かせて話をする子どもたちの様子から、充実した夏休みを過ごしたことがよくわかりました。

<安心して登校できる学校を> 昨日の2学期始業式で、私は以下のように児童に話をしました。

夏休みが終わりました。44日間の夏休みはどうでしたか？とても暑い日が多くて大変だったと思いますが、きっと一人一人がそれぞれに素敵な夏休みを過ごしたことと思います。私は、1,000人以上いる原小の子どもたちが大きな事故もなく、こうして元気に学校に来てくれたことが何よりも嬉しいです。これからも、自分の命は自分で守る。特に交通事故には十分気を付け、登校や下校の時は走らず、家に帰ってからも安全第一で過ごしてください。

さて、みなさんは、今も各クラスで友だちと仲良く生活していますか。自分勝手に振る舞ったり、冗談半分で、友だちの心を傷つけたりするようなことはありませんか。

今、全国の学校で、そのようないじめが原因で、自分の命をなくしてしまうことが大きな問題となっています。特に、9月のこの時期は、一年の中でも一番多い時期だと言われています。

いじめには、4つのグループがあります。1つ目は「いじめをされる人」、2つ目は「いじめをする人」、3つ目は「いじめに加わる人」、4つ目は「いじめを黙って見ている人」です。

では、この4つのグループのうち、どの人たちがいけないのでしょうか。そうです。2、3、4のグループの人たちです。いじめられる人以外、みんないけない人たちです。特に、日本は外国に比べて、いじめを黙って見ている4番目の人たちがとても多いと言われています。自分さえいじめられなかったら、それでよいと思っているかもしれません。

私をはじめ、原小学校の全ての先生たちは、いじめを絶対に許しません。みなさんが、明るく、楽しく生活できるような学校にしていきたいと思っていますからです。

もし、みなさんの周りにいじめを受けている人がいたら、黙って見ているのではなく、先生方に教えてください。安心して登校できる学校をみんなで協力してつくっていきましょう。

それでは、原小のみなさん、2学期も、目には見えないけれど大切な3つのもの、「命」、「思いやり」、「一生懸命」を大事にしながら、明るく元気に、そして友だちに優しく、学校生活を送ってください。

《お願い》 本校教職員の勤務時間は、8時00分から16時30分となっております。大変恐縮ですが、働き方改革の観点から、今後緊急な場合を除き、勤務時間以降の電話連絡や来校等は、できるだけ控えていただきますよう、ご理解・ご協力をお願いいたします。